

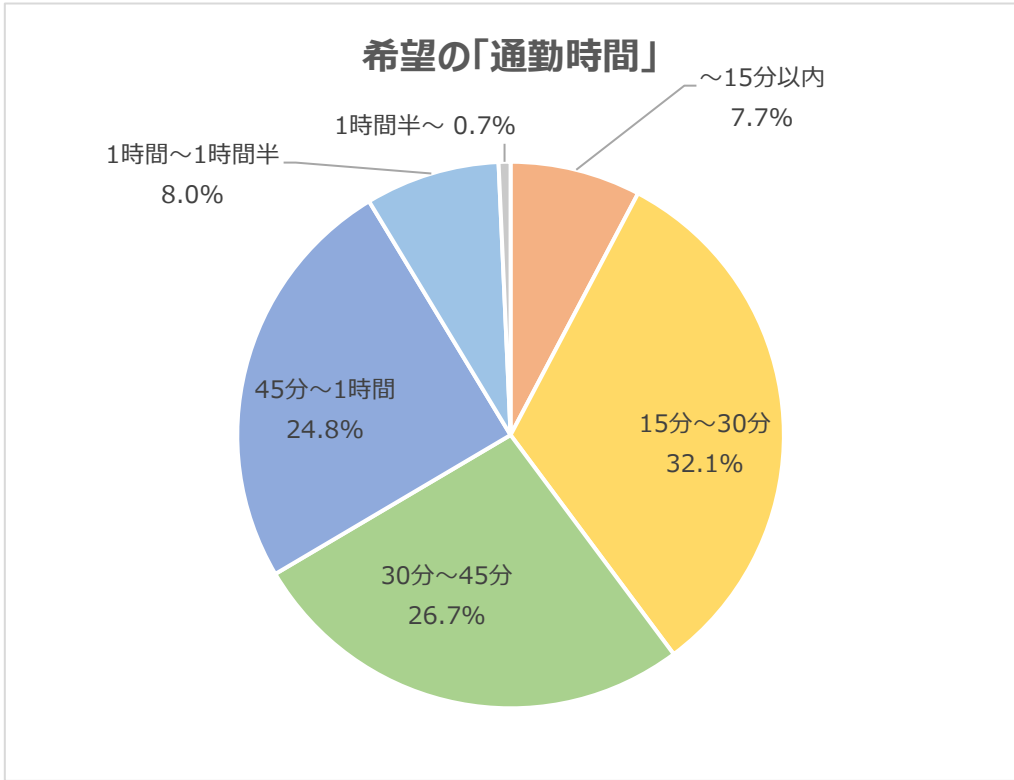
【20代意識調査】希望の通勤時間は「15分～30分」が32.1%で最多。テレワーク経験者のほうが、「通勤時間を短くしたい」と考えている傾向。テレワークを経験した20代の49.0%が、「都心に住みたい」と回答。

株式会社学情は、20代の仕事観や転職意識をひも解くため、「通勤時間」に関してアンケート調査を実施しました。希望の通勤時間は「15分～30分」が32.1%で最多。次いで「30分～45分」26.7%と続きます。「通勤」に関する考え方は、テレワーク経験の有無によっても異なることが分かりました。テレワーク経験のある20代は、32.0%が「（新型コロナウイルスの影響を受け）通勤時間を短くしたいと思うようになった」と回答。テレワークを経験していない20代の同回答（24.1%）を7.9ポイント上回りました。テレワークで「通勤時間」のない生活を経験することで、「通勤」への考え方にも変化が生じていると推察されます。住む場所についても、テレワークを経験している20代の49.0%が「都心に住みたい」と回答しており、「郊外に住みたい」を15.7ポイント上回りました。テレワークで入社する機会が減少すると、「郊外」に住むことを検討する人が多いと言われていますが、20代はテレワークを実施する場合でも「都心」に住むことを希望する人が多いと伺えます。

【TOPICS】

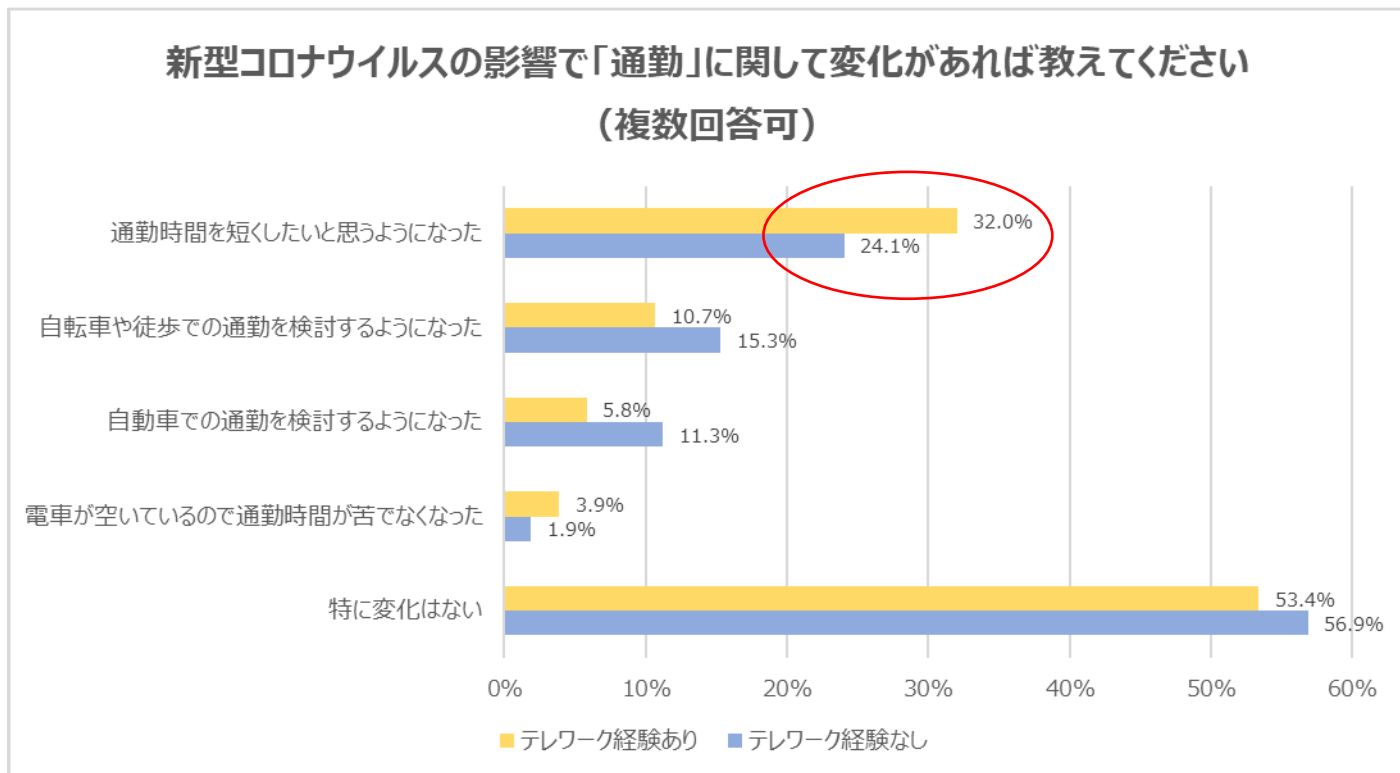
- (1) 希望の通勤時間は「15分～30分」が32.1%で最多。「1時間以内」91.3%を占める
- (2) テレワークを経験した20代のほうが「通勤時間を短くしたい」と考えている傾向
- (3) 20代のテレワーク経験者の49.0%が、「便利さを重視で都心に住みたい」と回答。
「家の快適さを重視で郊外に住みたい」を15.7ポイント上回る

- (1) 希望の通勤時間は「15分～30分」が32.1%で最多。「1時間以内」91.3%を占める



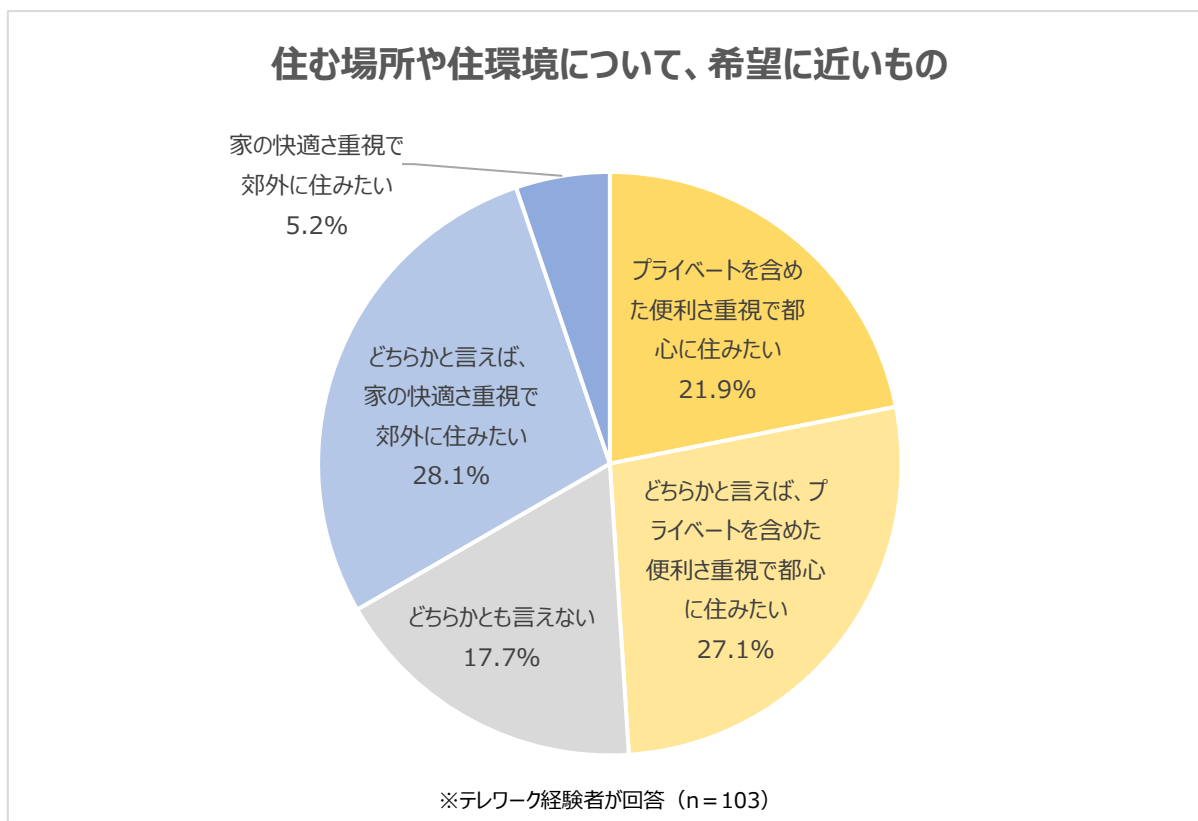
希望の通勤時間は、「15分～30分」が32.1%で最多。次いで、「30分～45分」26.7%、「45分～1時間」24.8%と続きます。20代転職希望者の91.3%が、通勤時間は「1時間以内」を希望していることが分かります。「15分以内」や「15分～30分」を希望する20代からは、「通勤時間は意外と体力を消耗するので、できるだけ短くしたい」「時間を有効活用したい」などの声が寄せられました。一方、「30分～45分」「45分～1時間」を希望する20代は、「通勤時間に勉強したいので、1時間以内までは許容できる」「通勤時間は、仕事とプライベートの気持ちを切り替える時間にもなるので、短すぎず長すぎない時間が良い」として

(2) テレワークを経験した20代のほうが「通勤時間を短くしたい」と考えている傾向



「通勤」に関する考え方や捉え方は、テレワーク経験の有無によっても異なることが分かりました。テレワーク経験のある20代は、32.0%が「(新型コロナウイルスの影響を受け)通勤時間を短くしたいと思うようになった」と回答。一方、テレワークを経験していない20代の同回答は、24.1%に留まりました。テレワーク経験のある20代のほうが、「通勤時間短くしたい」と考えている割合が高く、テレワークで「通勤時間」のない生活を経験することで、「通勤」への考え方にも変化が生じていると推察されます。

(3) 20代のテレワーク経験者の49.0%が、「便利さを重視で都心に住みたい」と回答。
「家の快適さを重視で郊外に住みたい」を15.7ポイント上回る



住む場所や住環境について、テレワークを経験している20代の49.0%が、「プライベートを含めた便利さを重視で都心に住みたい」「どちらかと言えば、プライベートを含めた便利さを重視で都心に住みたい」と回答。「家の快適さを重視で郊外に住みたい」「どちらかと言えば、家の快適さを重視で郊外に住みたい」の回答は33.3%に留まり、「都心に住みたい」が「郊外に住みたい」を15.7ポイント上回りました。一般的には、テレワークを実施し、オフィスに出勤する機会が減少すると「郊外」に住むことを検討する人が多いと言われていますが、20代はテレワークを実施する場合でも、「都心」に住むことを希望する人が多いと伺えます。

■調査概要

- ・調査対象：[20代専門]転職サイト「Re就活」へのサイト来訪者
- ・調査方法：「Re就活」にアクセスしたサイト来訪者に、アンケートのポップアップを表示
- ・調査期間：2021年4月30日～2021年5月10日
- ・有効回答数：427名